

大高同窓会報

発行
千葉県立大多喜高等学校同窓会
 千葉県夷隅郡大多喜町大多喜481
 〒298-0216 TEL 0470-82-2621
 URL
<http://www.chiba-c.ed.jp/otaki-h/>
 E-mail otaki-h@chiba-c.ed.jp
 印刷 (株) サラト
 姫路市北条宮の町172番地
 TEL 079-284-1380



挨拶

千葉県立大多喜高等学校 前同窓会長 斎藤 萬祐

大多喜高等学校同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご清福にて、ご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃は、当会の活動運営に関しまして、何かとご指導・ご協力を賜っておりますこと、心より御礼申し上げます。

さて、母校の生徒諸君は勉強や部活動などで頑張っています。部活動では、女子卓球部で、全国選抜卓球大会に古市さんが、関東高等学校新人卓球大会に団体が、また、関東高等学校卓球大会に女子ダブルスで古市・鈴木組や団体が出場しました。吹奏楽部も第17回日本管楽合奏コンテストで全国大会に出場し、美術部は5年連続で全国高等学校総合文化祭美術・工芸部門に本年度は、林真澄さん、末吉

永奈さん、松本春菜さんの3名が出場するなど活躍しているようです。進学では、国公立大学への進学も果たし健闘しているようです。また、「いすみ鉄道」の活性化にもさまざまな活動を展開しているようです。これも学校長をはじめ、教職員ならびに同窓生、地域の皆様方の力強いご協力と温かいご支援の賜物であります。

昨年度の同窓会総会で会長職を退き、新しく会長に選ばれた山口登会長のもと、大多喜高等学校同窓会のさらなる発展を期待しています。長い間会長として支えてくださった皆様方には感謝申し上げます。最後に同窓生の皆様方のご健康とご多幸を祈念申し上げ挨拶といたします。



思いつくままに

千葉県立大多喜高等学校 同窓会長 山口 登

このたび同窓会長を拝命しました山口登でございます。一期二年間お世話になります。

「会長になったのだから同窓会誌に寄稿せよ」との要請により筆を執りました。思いつくままに書かせていただきます。

まず、本校の校訓である「大中至正」を掲げさせていただきます。昨年の東日本大震災の際に、大津波により東京電力福島原子力発電所が放射能漏れを起こし大変な被害を出しましたが、この事故の国会調査委員会が当時の首相官邸の混乱ぶりを、当事者からの聞き取りで浮き出させています。首相の先入観や独りよがりの言動・行動を知るにつけ、「偏らぬ真っ直ぐな心」という意味のこの言葉の重みを再認識しています。

あの震災・大津波という極限の中、懸命に助け合い整然と行動し、前向きに生きようとする日本人の凛とした姿に、世界中から驚きと敬意が示されました。日本の強みは、何よりもこの人々の助け合う力、団結力、絆だと思います。

昨年の大晦日にミュンヘンオリンピックでのバレーボール

全日本男子監督 松平康隆氏が逝去されました。松平氏の「試合に臨んで、やってはいけない三つの『ない』がある。諦めない、悔らない、ひるまない、の三つだ。」という言葉が被災者をはじめすべての皆様にお伝えしたいと思います。

次に申し上げたいのは、「(力則必達) つとむればすなわちかならずたつする」であります。

これは本校在学時に柔道場に掲げられていた言葉で、より分かり易く申し上げれば「全力で努力をすれば必ず目標を達成できる」であります。

「第八十八回 東京箱根間往復大学駅伝競走」、いわゆる正月の箱根駅伝で、今年、東洋大学が優勝しました。早稲田大学が昨年出した大会記録を八分十五秒も更新した驚異的な記録となりました。「昨年負けた悔しさをばねに一人一人が一秒を削り出す努力を重ねた結果です。選手間の合言葉は『一秒を削り出せ』でした。」との優勝の後のインタビューを聞いて、母校の柔道場の「力則必達」を思い出しました。

大高の校歌に「夷隅は遠く世界を目指す」とあります。私

も若いころ、柔道の普及でヨーロッパに渡りました。

ちょうど一年前、ベルリンフィルハーモニーオーケストラを指揮した日本人指揮者 佐渡 裕氏。「子どもも大人もドアの向こうに何か面白い世界があると思う想像力が大事。ド

アを開けてみようという勇気を持たないといけない。人生に自動ドアなんてないから。」佐渡氏のこの言葉を、最後に紹介し、拙い寄稿文の終わりといいたします。

それでは、皆様、二年間よろしくお願いたします。



本校の現状と課題

千葉県立大多喜高等学校校長 渡邊 隆

同窓の皆様には日頃より大多喜高校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。大多喜高校2年目を迎え、新年度が順調に進んでいます。

昨年度は10月29日の同窓会総会で、齋藤萬祐様が会長職を辞され、山口登県議が新会長として承認され、同窓会の新体制がスタートいたしました。齋藤元会長は、平成3年から20年間の長きにわたり同窓会長の要職をお務めになされました。その間、創立100周年・110周年記念事業、大多喜女子高校との統合、普通教室への冷房設備導入を始め多くの事業にご尽力いただきました。また、長年の地域・県政へのご貢献により秋の叙勲で旭日小綬章をお受けになりましたことは、地域はもちろん学校としても大きな喜びであります。ここで改めて感謝とお祝いを申し述べさせていただきます。

同窓会活動につきましては、去る5月末に女子高支部総会に出席し、総会を始め一通り各支部の活動の様子を伺うことができました。母校に対する皆様の熱い想い、そして物心両面で様々なご支援をいただいている状況を理解することができました。

学校の近況を報告させていただきます。昨年度の後期は、初めての沖縄修学旅行(10月)を始めすべての学校行事を予定通り実施でき、3月には5クラス187名の卒業生が立派に成長し、実社会・上級学校へと巣立って行きました。卒業生が選んだ各分野での同窓の皆様への暖かいご支援をお願いする次第です。なお、英語科は最後の卒業生となり、13期15年間の歴史の幕を閉じましたが、これからも英語教育・国際理解教育のいっそうの充実を目指していく所存です。今年度は普通科13クラス(1、2年4クラス、3年5クラス)となり、2年続けてのクラス減ですが、学校全体が落ちついた中にも活気を失うことなく学習活動に部活動に取り組んでいます。

学習面では、丁寧な質の高い授業の実施、英語・漢字・数学の小テストなどにより家庭学習の習慣化・基礎力の定着を図っています。また、増単位クラスの設置、3泊4日の勉強合宿(城西国際大学安房ラーニングセンター)、予備校出前講座、放課後や長期休業中の課外授業など、進学指導

体制も整っています。その中で挑戦心を持ち続け高い進路目標を実現できるよう生徒を指導しています。

部活動については、加入率が85%で、各部が活発に活動しています。その成果として美術部が昨年に引き続いて5年連続の全国大会出場を果たしました。しかも今年度は3名(3A林真澄さん 末吉永奈さん 3E松本春菜さん)の出場で、県代表9名のうち3分の1が大高生という快挙です。現在校内には、過去の全国大会出品作も含め多数の作品を校内に展示してありますので、お立ち寄りの上ご覧いただけたら幸いです。また、吹奏楽部・卓球部の活躍も顕著でした。吹奏楽部は創部以来初の県コンクール金賞、全国大会出場を果たしました。卓球部は全国選抜大会で古市由香さん(3E)が5位となり、今年度に入ってから女子団体がベスト4、個人で古市由香さん、鈴木麻友さん(3D)がベスト8に入り、それぞれ関東大会出場を果たしました。女子団体の関東大会出場は創部以来初の快挙です。

いすみ鉄道支援活動も継続しており、地域の中高校と連携して駅舎・車窓清掃などを行っています。昨年度は、千葉日報社主催「2010千葉教育大賞」受賞でいただいた賞金で、城見ヶ丘駅に巨大花壇を設置しました。そこに「いすみ鉄道対策委員会」・生徒会が中心となって葉ボタン400株とパンジー270本を植え、美術部が看板制作に協力してくれました。いすみ鉄道ご利用の際、あるいはお近くにお越しの際はぜひご覧ください。

最後になりますが、現在県教育委員会では第2期の高等学校改革を進めています。その推進プログラム第一次実施プランで、夷隅地域の高等学校が適正配置の対象となりました。平成27年度に3校(勝浦若潮、大原、岬)が統合して総合学科高校になるというのがその概要です。今後数年間の夷隅地域の生徒数減少は著しいものがあり、地域の進学校としての大多喜高校の存在意義・役割をよりいっそう明確にし、魅力ある学校づくりをしていくことで安定した定員確保を目指さなければなりません。これまで受け継がれてきた「文武両道」を理念に、今後も一人ひとりの生徒をしっかり育てていきます。同窓の皆様との相変らぬご理解とご支援をお願い申し上げます。

支部・OB会だより

大多喜支部 平成24年度支部総会

大多喜高校同窓会大多喜支部では、5月17日(木)に大多喜町中央公民館において、支部の定例総会を開催しました。

同窓会長である山口登千葉県議会議員、後援会長の飯島勝美大多喜町長の他、渡邊校長先生を来賓にお迎えし、平成23年度の事業報告、決算の承認の他、24年度の事業計画や予算(案)などの審議を行いました。

平成24年度の事業計画では、同窓会支部会員の親睦を深めるための事業や生徒の通学の手段であるいすみ鉄道を支援するため乗車運動を含め、いすみ鉄道を側面から支援することや鉄道沿線の環境美化活動のための協力事業が全会一致で可決承認されました。

また、総会提出議案の審議終了後、昨年度就任された渡邊校長先生から「学校の現況について」と題し、お話を戴きました。

大多喜高校の生徒は、生活面でも挨拶は良くでき、服装、身な

りもしっかりしている。自慢の生徒である。また部活の面においても関東大会や全国大会に出場するなど素晴らしい成績を残している。また生徒の通学の足であるいすみ鉄道存続に向けてできる活動を今年度も継続していきたいとする挨拶がありました。

また本年度は、支部役員の改選期でもあり、審議の結果、支部

長、副支部長は留任、地区役員5名の内4名が変わり、また監事、事務局長に異動がありました。

同窓会大多喜支部では、母校のため、生徒のために惜しみない努力を続けて参りたいと考えます。

女子高支部

同窓会女子高支部では5月27日(日)に大多喜高校会議室でご来賓の渡邊隆校長、齋藤真一同窓会事務局長をお迎えし、同窓生26名の出席を得て総会を開催しました。総会では23年度の事業報告、決算の承認他、24年度の事業計画案、予算案、任期満了に伴う役員改選など審議され原案どおり承認されました。終了後懇親会を設け、はじめに自己紹介をし、同窓生の岡野一枝さんの指導で「夕焼小焼」の手話を全員で練習し、雰囲気ながよやかに、続いて「これからの同窓会の在り

方」について意見交換をいたしました。今、総会に出る同窓生が少なくなってきているので魅力ある総会にするにはどうしたらよいか。同窓会に来てよかった、行ってみたいと思われる会にしてほしいとの意見が出されました。これからの役員会で検討し、皆様のご期待に添えるよう頑張っていきたいと考えます。最後に「ふるさと」「今日の日はさようなら」を全員で合唱し終了しました。

女子高支部長 櫻井榮子



経友会

(野口幸夫会長) S33卒

第57回ゴルフコンペ 平成24年6月28日 於：大多喜カントリークラブ

経友会は毎年総会と年2回の親睦を目的にゴルフコンペを実施しています。今後ともより多くの同窓会員の皆様の参加を歓迎いたします。

サッカー部 OB 会

大多喜町近隣少年サッカー大会に16チームが参戦



千葉県立大多喜高等学校サッカー部OB会(会長渡辺八寿雄)主催による第11回大多喜町近隣少年サッカー大会が、大多喜町教育委員会の後援を戴き12月17日(土)大多喜町海

洋センター多目的広場で開催されました。

この大会は、元大多喜高校サッカー部顧問の故若菜征人氏の提唱により開催しているもので今回で11回目となります。

今大会には、夷隅郡市内はもとより茂原市内から総勢16チームが参加し熱戦が繰り広げられました。

試合は、過去の大会において優勝回数2回、準優勝3回の成績を収めている大原FCが順当に勝ち進み決勝戦へ進出。前

回優勝チームFC勝浦をP・K戦で制した東海FCが準決勝で総元小FCと対決し3対1で勝利し初めて決勝戦へ駒を進めました。

お互いに一步も譲らない決勝戦では、先取点をあげた大原FCが1点を守り切り3度目の優勝を飾りました。

大多喜高校サッカー部OB会では本年度も第12回大会を計画しています。大勢の参加をお待ちしています。

第11回大会成績

優勝 大原FC 準優勝 東海FC
3位 太東FC 4位 総元小FC

出場チーム

大多喜FC・老川ST・FC西畑・FC千町・茂原SC・中根FC・東小FC・古沢小学校・FC長者・FC中川・国吉FC・FC勝浦

同期会

昭和55年卒

平成23年11月13日(日)に、私達昭和55年3月卒業生の学年同窓会をホテル一宮シーサイドオーツカを会場に開催しましたので、ご報告させていただきます。この同窓会は、平成3年から5年に1度開催しており、今回で5回目となりました。同窓会名簿データ登録者236名と3学年時の恩師10名にお知らせを郵送し、157名の返信、57名の参加となりました。

先生方は退職後もスポーツや芸術の分野でご活躍されており、お忙しい毎日を送っていらっしゃるこのことで、当初ご出席のお返事はありませんでしたが、当日、会場近くでの行事に参加されていた田中洋一先生が、移動の時間の合間に駆けつけてくださり、ご挨拶をいただきました。

今回は3.11の震災後ということもあり、出席者の中には「今回はどうしても参加したかった。」と、普段はなかなか会えない旧友との再会に、これまででない熱い思いで、遠方から参加した者も多かったように感じました。

1次会は、buffet形式の軽食をとりながらの歓談、また、その後の2次会にも40名が参加し、カラオケでは青春時代の思い出の曲が次々リクエストされ、大いに盛り上がりました。

次回開催は、5年後の平成28年(2016年)とし、その後は4年ごとのOlympic yearの開催を申し合わせ、名残を惜しみつつ再会を約束して解散となりました。



平成23年度 同窓会総会報告

平成23年度の総会は、平成23年10月29日（土）に、勝浦ホテル三日月にて出席者66名のもと開催されました。慎重審議の上、定例の議案について承認されました。以下に、22年度会計報告を掲載させていただきます。なお賛助金とは、皆様方から1口1,000円で集めております任意の同窓会報発行維持費と広告料を合わせたものです。

平成22年度 同窓会決算報告書

● 一般会計

1 収入支出対照表 平成23年3月31日現在

	本年度収入総額	本年度支出総額	本年度残額	説明
	10,248,292円	7,476,507円	2,771,785円	翌年度へ繰越

2 収入の部

科目	予算額	決算額	比較		説明
			増	減	
繰越金	4,714,307円	4,714,307円	0円	0円	平成21年度繰越金
会費	0円	0円	0円	0円	
入会金	910,000円	910,000円	0円	0円	5,000円×182名
賛助金	2,000,000円	1,613,090円	0円	386,910円	同窓会報発行賛助金
繰入金	3,000,000円	3,000,000円			特別会計より繰入
雑収入	500円	10,895円	10,395円	0円	寄付金・普通預金利息
計	10,624,807円	10,248,292円	10,395円	386,910円	

3 支出の部

科目	予算額	決算額	比較		説明
			増	減	
会議費	250,000円	63,024円	0円	186,976円	総会補助、役員会費
運営費	150,000円	88,970円	0円	61,030円	事務費、通信費
活動費	600,000円	501,290円	0円	98,710円	支部活動費、旅費等
学校援助費	5,000,000円	5,000,000円	0円	0円	110周年事業教室冷房設置
広報費	2,000,000円	1,823,223円	0円	176,777円	同窓会報発行代
雑費	80,000円	0円	0円	80,000円	慶弔費
予備費	2,544,807円	0円	0円	2,544,807円	
計	10,624,807円	7,476,507円	0円	3,148,300円	

● 特別会計

1 収入支出対照表

	本年度収入総額	本年度支出総額	本年度残額	説明
	4,793,604円	3,000,000円	1,793,604円	翌年度へ繰越

2 収入の部

科目	予算額	決算額	比較(減△)	説明
繰越金	4,792,395円	4,792,395円	0円	平成21年度繰越金
雑収入	2,000円	1,209円	791円	預金利息
計	4,794,395円	4,793,604円	791円	

3 支出の部

科目	予算額	決算額	比較(減△)	説明
繰出金	3,000,000円	3,000,000円	0円	一般会計へ繰出
予備費	1,794,395円	0円	1,793,604円	
計	4,794,395円	3,000,000円	1,793,604円	



いすみ鉄道関連ニュース

34号

千葉県立大多喜高等学校 生徒会・いすみ鉄道対策委員会

平成23年12月14日

城見ヶ丘駅の花壇に花が咲く!!

いすみ鉄道関連ニュースの第32号でもお知らせしたように、城見ヶ丘駅に花壇が設置されたのはみなさんご存じだと思います。昨年度の“2010千葉教育大賞”（千葉日報社主催）で大多喜高校が大賞を受賞した際にいただいた副賞を活用して、城見ヶ丘駅に花壇を設置したものです。この花壇にパンジーとハボタンを植える作業を生徒会・いすみ鉄道対策委員会で行いました。当日は冷たい雨の降りしきる中、合羽を身にまとい泥まみれになりながら花を植えました。この花は、茂原樟陽高校からハボタン270株、岬高校からパンジー 400株を購入したもので、多くの先生方のご協力を得て、前日までに現地にトラックで花を運んだり、積み降ろし作業をしていただいたりしました。

こんなにきれいに花壇が完成しました。季節によって色とりどりの花々を楽しむことができます。また花壇の植え替え作業や管理なども積極的に行っていく予定です。ご協力いただいた方々に感謝申し上げます。



駅看板のパネル作成中!!

城見ヶ丘駅の花壇設置と合わせて、駅看板のパネルも作成中です。これは鈴木奈杏さん（3E）と富澤杏子さん（3E）が下書きの段階から構図や配置を念入りに考え、様々な塗料や道具を駆使して力を合わせて作成しています。いすみ鉄道をイメージしたデザインで、菜の花の黄色、車輪の茶色がとても際立っています。完成まであと一息といったところです。完成後は駅に取り付け作業を行いますので、ぜひ御覧になってください。



11月26日の千葉日報と、千葉日報ホームページに掲載された記事です。すでにご覧になった方も多いと思いますが、大きく取り上げられました。また、ホームページ上でも同様に取られました。この記事は、いつでもアクセスできますので、ぜひ御覧になってください。

また11月29日に今年度の千葉教育大賞プレゼンテーション審査会に、大賞受賞後の取組活動の報告を行ってきました。大多喜高校の取組がこれからも継続していることやさらに深まっていることが伝わりました。これからも皆さんの御協力をお願いいたします。



35号

平成24年3月23日

城見ヶ丘駅の“い鉄応援パネル”完成!!

前号で紹介した城見ヶ丘駅の花壇の脇に設置するための“いすみ鉄道応援パネル”が完成しました。これは昨年度の“2010千葉教育大賞”(千葉日报社主催)で大多喜高校が大賞を受賞した際にいただいた副賞を活用したもので、城見ヶ丘駅の花壇脇に設置しました。

今年度の卒業の鈴木杏奈さん(3E)と富澤杏子さん(3E)が下書きの段階から構図や配置を念入りに考え、様々な塗料や道具を駆使して力を合わせて作成したものです。いすみ鉄道をイメージしたデザインで、菜の花の黄色、車輪の茶色がとても際立っています。



城見ヶ丘駅に“い鉄応援パネル”設置!!

3月15日からパネル設置工事が着工し、ようやく完成しました。城見ヶ丘駅のホームのベンチの真正面に取り付けられたパネルは、高さ約2m、幅約4mの大きさで、とてもよく目立ちます。パネルのみならず、その周りのデザインなども考えました。列車からも、ホームの待合所からもよく見えます。先に設置した花壇と合わせて、列車を待つ間の楽しみにもなることと思います。みなさん、是非城見ヶ丘駅まで足を運ばれてみてはいかがでしょうか。



今年度最後の駅清掃を実施!!

今年度の最後の“い鉄清掃”が行われました。今回は、大多喜駅に留置してある列車の窓を拭いたり、駅構内やホームの掃き掃除などを行いました。今年度の清掃活動は全部で10回にわたりましたが、各学級の担当のみなさんと先生方のおかげで清掃活動に取り組むことができました。御協力に感謝いたします。来年度も積極的に“い鉄清掃”などの大多喜高校独自のいすみ鉄道支援活動に取り組んでいく予定ですので、みなさん御協力をお願いいたします。



みなさん御協力ありがとうございました。

今年度のい鉄清掃の様子

36号

平成24年5月11日

今年度の取組について

今年度も大多喜高校生徒会・いすみ鉄道対策委員会を中心に、いすみ鉄道への支援活動を積極的に行っていきます。昨年度は、駅舎清掃・車両清掃、各種行事への参加などに加えて、城見ヶ丘駅花壇設置、菜の花の種まき、応援パネルの設置、い鉄関連ニュースのホームページのアップなど様々な活動を行いました。その活

動の取組の様子が各種メディアでも紹介されたのは、みなさんご承知のことと思います。これまでの取組をさらに発展させるために、今年度も継続した取組を行います。大多喜高校の生徒・保護者・先輩の皆さん、地域の方々、関係する多くの皆さんのこれまでの御協力に感謝するとともに、これからも引き続き、御協力をよろしくお願い致します。

い鉄清掃について

①担当クラス・実施日時・乗車時刻

	大多喜駅	小谷松駅	東総元駅	総元駅
往路(上総中野行き)→	15:59	16:02	16:05	16:10
復路(大原行き)←	16:46	16:42	16:39	16:34
5月8日(火)	3A	2A	1A	生徒会
6月7日(木)	3B	2B	1B	生徒会
7月10日(火)	3C	2C	1C	生徒会
9月4日(火)	3D	2D	1D	生徒会
10月16日(火)	3E	2A	1A	生徒会
11月13日(火)	3A	2B	1B	生徒会
12月12日(水)	3B	2C	1C	生徒会
1月8日(火)	3C	2D	1D	生徒会
2月5日(火)	1C	2A	1A	生徒会
3月12日(火)	1D	2B	1B	生徒会

- ①集合 15:40 中庭倉庫前
- ②準備 倉庫内の清掃用具を用意
※小谷松駅・東総元駅ポリタック持参
- ③箇所 駅舎・ホーム周辺の掃き掃除
※ベンチや窓ガラスの水拭き
※線路内へは立ち入らない
- ④注意 列車が接近したら清掃をやめ安全な場所へ
- ⑤雨天 基本的に延期する
※朝または帰りのHRで連絡

い鉄応援パネルについて

前号で紹介した城見ヶ丘駅の花壇の脇に設置するための“いすみ鉄道応援パネル”について千葉日報の記事に取り上げられました。これは“2010千葉教育大賞”(千葉日报社主催)で大多喜高校が大賞を受賞した際にいただいた副賞を活用したもので、城見ヶ丘駅の花壇脇に設置しました。

昨年度の卒業の鈴木杏奈さんと富澤杏子さんが下書きの段階から構図や配置を念入りに考え、様々な塗料や道具を駆使して力を合わせて作成したものです。いすみ鉄道をイメージしたデザインで、菜の花の黄色、車輪の茶色がとても際立っています。先に設置した花壇と合わせて、列車を待つ間の楽しみにもなることと思います。みなさん、是非城見ヶ丘駅まで足を運ばれてみてはいかがでしょうか。



②担当の先生方

大多喜駅(森田先生) 小谷松駅(阿部先生)
東総元駅(菅根先生) 総元駅(竹山先生)
各担当クラスの学級担任か副担任の先生



③その他

- 半日課の場合は、その都度連絡します。
- 場合によっては、列車清掃に代替することがあります。



マンドリン・ギター列車のお知らせ



いすみ鉄道の列車に揺られながらマンドリンの音色の響きに耳を傾け、車内の皆さんと一緒に歌を口ずさみながら楽しいひと時を過ごす、マンドリン・ギター列車が今年も走ります。これはマンドリン・ギター部のみなさんが企画している恒例の行事です。6月9日(土)の予定です。詳細については次号で告知します。

昨年度のポスターとその様子です。



第5回 マンドリン・ギター列車について



6月9日(土)、マンドリン・ギター部によるマンドリン・ギター列車演奏会が行われます。今年で5回目となる恒例の行事です。列車に揺られながらマンドリンの響きをお楽しみください。



【列車時刻】

10:14 大多喜発 → 10:35 上総中野着
 10:43 上総中野発 → 11:35 大原着
 11:46 大原発 → 12:17 大多喜着

【おすすめの曲目】

①丘を越えて ②チェリー
 ③カントリー・ロード
 ④私のお気に入り ⑤エーデルワイス
 全21曲の演奏予定です。

明善祭のお知らせ

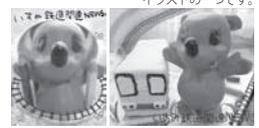
第34回明善祭が6/23(土)(一般公開・午前9:30~)に行われます。いすみ鉄道対策委員会を中心に、いすみ鉄道についての展示発表(①いすみ鉄道の現状と歴史、②本校のいすみ鉄道支援活動、③DVD上映会などを予定、④い鉄グッズ販売)などを企画しています。



また今年は、夷隅地域の振興を兼ねて、県民の日のイベントとしてタイアップ企画を催します。当日は、マンドリン・ギター部や吹奏楽部によるおもてなしとして「いすみ鉄道音楽列車」が運行されたり、大多喜駅や駅前観光本陣、大多喜城分館などと連携したウォークラリーも実施されますので、より多くのお客様が来場される見込みです。皆様のご来場を心よりお待ちしております。なお明善祭にはいすみ鉄道を利用してお越しください!

い鉄関連ニュースの配布について

校内の生徒、保護者向けに配布していた「いすみ鉄道関連ニュース」ですが、このたび大多喜町役場の取り計らいで、町内の公共施設や駅舎、車両内に設置することになりました。ファイルにはこれまでのいすみ鉄道関連ニュースだけではなく、特別に作成したイラストがあります。これは、いすみ鉄道とチーパくんをモチーフにしたもので全部で20種類程度あります。どこにどのイラストが配布されるかは秘密です。配布箇所についてはこれから順次お知らせしていきます。



この配布により、大多喜高校のこれまでの取組や活動が、多くの観光客や乗客の方々の目に触れるよい機会となります。今回はいすみ鉄道のすべての列車に設置します。その後は、町内の各公共施設などに配布する予定で、全部で50か所程度を予定しています。もしかしたら、列車内や町内でみなさん声を掛けられて大多喜高校についていろいろ質問をされるかもしれませんね。

国吉駅の乗車マナーについて(お願い)

いすみ鉄道は単線ですが無人駅ばかりです。そのため、運転手さんによるワンマン運転となっています。朝の通学時間帯の列車(通称8時電)は、大変込み合います。しかも雨の日はさらに乗車が増えます。そのような中で、国吉駅の利用方法についてお願いがあります。国吉駅には、大多喜方面行きの下りホームに駅舎がありません。みなさん雨の日の上りホームの待合室で列車の到着を待っていますか。列車が到着してから下りホームに行くのと、どうしても時間がかかってしまい、定刻通りの列車の発車ができないそうです。列車が到着する直前ではなく、ホームの踏切が鳴り出す前に下りホームに移動してください。



また、先頭の1両目の車両にどうしても乗る人が多く、これも時間がかかることとです。乗車口が前後2つしかありませんから、譲り合いでスムーズに乗車できるように心がけてください。

同窓生の声

ソロモンの思い出

尾本 衛(昭和37年卒)



私が大高に入学したのは1959年である。共に遊び共に学び、常に刺激を与えてくれた素晴らしい友を得た大高での日々を懐かしく思っている。

私は京都大学で経済学を学んだ後、富の源泉は資源産業にありと考へて、就職は地下資源事業に携わる三井金属鉱業に決めた。初任地である飛騨の山奥の垂鉛を産出する神岡鉱業所で経理の基礎を学んだ後、ソロモン諸島のレンネル島のボーキサイト探鉱に従事した。

1969年10月、勇躍羽田を発って、飛行機を乗り継ぎ3日目に首都ホニアラ空港に着いた。当時のソロモンは英国の保護領であり、British Solomon Islands Protectorateと称した。

この話は第一次探鉱が終わって、私が一人でレンネル島に滞在していた時の思い出である。

朝、小鳥の声で目が覚めて一日が始まる。同時に縁の下からも人の声が聞こえて来る。家が島民と同じ葉っぱの高床式の小屋だからである。ここは電気・ガス・水道なしの文明とは隔絶した世界である。彼らは夜明けと共に日本人見物のため遠くからやって来る。私が洗面をすれば取り囲んで見ている。食事を始めれば窓に鈴なりになって、がやがや話しながら見物している。トイレに行けばまたついて来て大勢が取り囲んで見ている。最初の頃は気になったがその内に慣れてしまった。トイレは露天である。雨の日はビーチパラソルをさしてのトイレとなる。この外、島での生活で悩まされたのは蚊と蠅である。常に蚊に刺され、蠅は口・鼻・目・傷口などの湿っている所に容赦なく食込んで来るのである。

7時に港の予定地に気象観測に行く作業者が集まって来る。現場はキャンプから20km離れており、観測機材と食料・水を20kgの梱包に分けて作業員30人が担ぎ、私が先頭に立って歩いて行く。レンネル島は隆起珊瑚礁で、海岸は200m程の高さの切り立った崖になっている。道なき急な崖を攀じ降りて海岸に着くと、夕食のために釣りをする。「縞鰹」がよく釣れた。作業員は、暗くなる前に遠く離れた彼らの寝る場所に逃げて行く。逃げる理由は、私の小屋の付近は「お化け」が出るからだそうであるが、私は見たことがない。ボーイが炊いてくれた飯と自分で調理した魚を一人で食べて、ランプの光で暫く本を読んで寝る。ある豪雨の夜、ドアをノックする音がして、作業員が全員寒さに震えて立っていた。小屋に招き入れて、米と缶詰とタオルを出したところ、大変喜んで夜遅くまで長老が聖書の話を若者に聞かせていたことが印象に残っている。その後、部落との揉め事もあったが、この時のことを感謝して私の言うことを聞いてくれた。白人ならば人種差別が厳しくてこのようなことはしないのである。低開発国での仕事にはこのような配慮が必要だと思う。

翌日からは、海岸で潮位と波高の観測と記録整理を行った。サメがいる海なので、島民に回りを泳いでもらいサメを見張らせての観測作業である。一週間の作業が終わるとホニアラに帰るが、ある時、島の赤ん坊が高熱を出したので、私のチャーター機で病院に送ったことがある。後に、鉱山や文明には反対であるという島の年寄りに、「あの赤ん坊が助かったのは文明のお陰ではないか、この島に文明をもたらすのは鉱山開発が早道である」と説得して理解を得たこともあった。正に「情けは人の為ならず」なのである。

これらは思い出の一部であるが、ソロモンで過ごした日々は私の半生のハイライトである。

帰国後は、主として財務と企画の仕事につき、神岡経理課長、本社財務部長、取締役専務執行役員・CFOを勤めて、2007年6月に40年間勤めた三井金属を退任した。

今は漢詩と歴史と経済学の本を読み、散歩と旅行の日々を過ごしている。

部活動状況

吹奏楽部
平成23年
日本管楽合奏コンテスト全国大会



卓球部
平成24年
全国高等学校選抜卓球大会
女子シングルス 第5位 古市由香



平成24年
関東高等学校卓球大会 女子団体出場



美術部
平成24年
第36回全国高等学校総合文化祭
美術・工芸部門 林 真澄
末吉 永奈
松本 春菜



		男	女	計			男	女	計	
体育系部活動	柔道	9	0	9	文化系部活動	生物	9	0	9	
	剣道	18	10	28		美術	3	19	22	
	陸上競技	7	13	20		書道	0	10	10	
	弓道	28	18	46		マンドリン・ギター	8	10	18	
	野球	34	3	37		コンピュータ	2	0	2	
	ソフトテニス	16	11	27		文芸	4	1	5	
	バレーボール	7	17	24		演劇	8	5	13	
	バスケットボール	12	9	21		英語	1	9	10	
	サッカー	19	3	22		吹奏楽	9	40	49	
	卓球	10	13	23		茶道	0	25	25	
					同好会	華道同好会	0	19	19	
						コーラス同好会	1	1	2	
						料理同好会	0	11	11	
					合計	205	247	452		

23年度進路状況報告

進路指導主事 丸 健一

今の大学進学状況は、30年前とは大きく変わってきています。大学進学率も30年前には36.9%でしたが、現在では56.7%と20%もアップしています。大学数は1.7倍に増加し(30年前:451大学、現在:780大学)、大学入学者の約半数が推薦・AO入試での入学となっています。このように、現在の大学は全体としては30年前よりも大変入りやすくなっていると言えるでしょう。しかしながら、人気のある大学は30年前同様に狭き門のままとなっており、大学の2極化が進んでいます。私立大学の4割は経営が危うい状況に陥っており、大学の選定に当たってはより慎重さが求められる時代となっています。

ところで、国公立・私立ともに多くの大学が実施参加している大学入試センター試験では、受験方法においていくつかの変更がなされました。地理歴史及び公民の2教科については、同一の時間帯での実施とし、地理歴史6科目及び公民4科目の中から多様な組合せで最大2科目の選択が可能となりました。また、理科においても、6科目から多様な組合せで最大2科目の選択が可能となりました。さらにまた、実施方法では、今年度からは受験する教科名・科目数は出願時に事前登録することとなりました。こうしたいくつかの変更により、実施上の様々なミスが生じたことはマスコミ等で報じられたとおりですが、幸い本校生徒の受験会場ではスムーズに行われたようです。

さて、右表は本校の過去3年間の男女別進路概況です。4年制大学への進学率は、21年度男子では73.2%、22年度男子では72.2%と、70%台でしたが、平成23年度は63.5%と大きく減少しました。専門学校進学者と進学希望者(浪人生)の比率が高まったことが要因となっています。一方、女子においても、4年制大学への進学者比率は21年度の55.7%から暫減し、23年度には46.5%となりました。要因は専門学校への進学者の急激な増加です。それまでは20%程度だった専門学校への進学者が平成23年度には31.7%と、22年度に増加した短大進学者の割合を奪うように比率を高めています。内訳を見てみると、医療・看護系に根強い人気があるほか、経理、公務員コースや自動車関係、美容、調理など多岐にわたっています。昨今、大学を卒業後に専門学校に入り直すという者が増えているとのこと。早期に自分のやりたいことを見つけ、大学進学をせずに専門学校への進学を選択することは素晴らしいことだと思います。しかしながら、大学にも大学ならではの大きな魅力があるわけで、大学進学の意味もしっかりと伝えていくことが本校の進路指導においてより一層重要となってきているように感じています。

◇本校の過去3年間の男女別進路概況

		21年度	22年度	23年度
大 学	男	71 (73.2%)	65 (72.2%)	54 (63.5%)
	女	54 (55.7%)	50 (54.3%)	47 (46.5%)
短 大	男	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)
	女	10 (10.3%)	16 (17.4%)	9 (8.9%)
専門学校	男	9 (9.3%)	14 (15.6%)	14 (16.5%)
	女	21 (21.6%)	18 (19.6%)	32 (31.7%)
公務員	男	0 (0.0%)	2 (2.2%)	3 (3.5%)
	女	2 (2.1%)	0 (0.0%)	2 (2.0%)
民間就職	男	4 (4.1%)	2 (2.2%)	3 (3.5%)
	女	5 (5.2%)	2 (2.2%)	7 (6.9%)
その他	男	1 (1.0%)	1 (1.1%)	0 (0.0%)
	女	1 (1.0%)	3 (3.3%)	1 (1.0%)
進学希望	男	12 (12.4%)	6 (6.7%)	10 (11.8%)
	女	4 (4.1%)	3 (3.3%)	3 (3.0%)
計	男	97	90	85
	女	97	92	101

◇平成23年度卒業生合格先 [4年制大学]

茨城大、千葉大、千葉県立保健医療大、都留文科大、中央大、明治大、東京理科大、学習院大、神戸外語大、日本大、専修大、東京農業大、東洋大、東邦大、独協大、武蔵大、法政大、東京女子大、千葉工業大、玉川大、女子栄養大、淑徳大、拓殖大、東京家政大、杏林大、亀田医療大ほか

◇短期大学

青山学院女子短大、植草学園短大、千葉敬愛短大ほか

◇卒業生合格先 (旧年度)

[4年制大学]

秋田大、玉川大、東海大、東京農業大、東洋大ほか

◇平成23年度卒業生 (平成24年3月卒業) 進路状況詳細

種別 性別	大学		短大		専門 各種学校	就職		家事 従事	その 他	進学 希望	合計
	国公立	私立	国公立	私立		民間	公務員				
男	1	53	0	1	14	3	3	0	0	10	85
女	5	42	0	9	32	7	2	0	1	3	101
計	6	95	0	10	46	10	5	0	1	13	186

事務局だよ!

●平成23年度 年度末人事異動について

年度末の人事異動で、次の方々が退任・転任・転入されました。

《退任された先生》

坂野 正人 (数学) 3年間(24年度勝浦若潮高校再任用)

《転任された先生方》

石原 修 (教頭) 平成22年より2年間、県立市原緑高校へ

御園 直斗 (理科) 平成21年より3年間、県立大綱高校へ

岡本多佳乃 (保健体育) 平成20年より4年間、県立九十九里高校へ

櫛田 百代 (事務長) 平成22年より2年間、県立市原高校へ

中村 和枝 (学校技師) 平成21年より3年間、県立茂原樟陽高校へ

伊藤明日香 (国語) 平成23年より1年間、県立君津高校へ

堀江 明 (数学) 平成23年より1年間、県立大綱高校へ

《本校に転入された先生方》

林 晃喜 (教頭) 木更津市立木更津第二中学校から

岩田 正之 (国語) 県立東金高校定時制課程から

齋藤 恵子 (事務長) 県立東金特別支援学校から

村松 久子 (家庭) 本校非常勤講師から

●異動連絡のお願い

住所等の異動の折には郵便はがきなどで同窓会事務局にご連絡ください。同窓会関係の郵便物が宛先不明で返送されますと会員名簿上での住所は空欄となります。同窓会事務局では少しでも正確な情報を把握しておきたいと考えておりますので、ご協力よろしくお願い致します。

●原稿募集のお願い

同期会・クラス会・OB会等を開催されましたら、会報に掲載しますので、ご連絡をお願い致します。また、同窓生の皆様からの寄稿をお待ちしています。あるいは、原稿をお願いできる方をご推薦ください。

●会報維持費のお願い

第6号より年1回の定期的発行となり、皆様方から会報維持費として1口千円でご協力をお願いしております。昨年は、920名より1,601,310円の維持費(振込額から料金を差し引いた金額)が送られて来ました。本当にありがとうございました。1号発行するためには、約180万円かかります。会報の発行は皆様の会報維持費と広告料で成り立つものです。是非とも賛助金のご協力をお願い致します。

●振り込め詐欺被害にご注意ください

勝浦警察署から担当者が来校され、同窓生の親御さん、特に50歳から70歳前後の方が被害に遭われているとのことでした。

●個人情報について

個人情報についてですが、同窓会員の情報は(株)サトラにて一括管理されています。これは、会報の発行や名簿作成のためです。それ以外での使用は一切行っておりませんのでご承知ください。

●役員名簿

会 長	山口 登 (昭37高)	
副 会 長	福山 悦男 (昭29高)	
	近藤 万芳 (昭32高)	
	太田 洋 (昭41高)	
	櫻井 榮子 (昭29女)	
	稲村千代子 (昭35女)	
監 事 (会計監査)	酒井 太門 (昭41高)	
	渡辺 雅文 (昭43高)	
顧 問	小高 芳男 (昭22中)	
	齋藤 萬祐 (昭32高)	
支 部 長	大多喜 田辺 弘一 (昭34高)	
	大 原 五十嵐一郎 (昭7中)	
	勝 浦 岩瀬 義信 (昭34高)	
	茂 原 村杉 仁 (昭31高)	
	千 葉 (千葉大高会)	福山 悦男 (昭29高)
	岬	太田 雅晴 (昭42高)
	女子高	櫻井 榮子 (昭29女)

【支部長は各支部で選出していただいています。】

平成24年度 同窓会総会・懇親会のお知らせ

日時 10月28日(日) 午前11時20分～

場所 勝浦ホテル三日月

会費 男性8,000円 女性5,000円

お問い合わせ、お申し込みは、
下記までお願い致します。

TEL 0470-82-2621

(大多喜高校内・同窓会事務局)

TOPICS

平成23年度

- 1 勝浦大高会よりいすみ鉄道対策費として5万円の寄付を頂きました。
- 2 大多喜高校のいすみ鉄道対策が各種メディアに取り上げられました。

平成24年度

- 3 4月7日に、4クラス普通科160名が入学いたしました。本年度より英語科がなくなり全クラス普通科13クラスになりました。
- 4 平成23年度に勝浦大高会より頂きたいすみ鉄道対策費の5万円を明善祭のいすみ鉄道関連コーナーの準備費として使用させて頂きました。
- 5 経友会の参加者から大多喜高校教育振興基金に17,000円の寄付を頂きました。

